

各 位

2023年11月21日
株式会社インプレス

人気の画像生成 AI ツールを誰でも使いこなせる！『はじめてでも迷わない Midjourney のきほん デザインに差がつく画像生成 AI 活用術』を11月21日に発売

インプレスグループで IT 関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、画像生成 AI ツール「Midjourney」（ミッドジャーニー）の操作方法から、ビジネス資料や YouTube のサムネイルなどに利用できる画像を実際に生成するまでの手順を解説した書籍『はじめてでも迷わない Midjourney のきほん デザインに差がつく画像生成 AI 活用術』を2023年11月21日（火）に発売いたします。



■Midjourney で思い通りの画像を生成するためのプロンプトや活用例がわかる

Midjourney は「Stable Diffusion」（ステーブル ディフュージョン）や「Adobe Firefly」（アドビ ファイアフライ）などと並んで知られている画像生成 AI ツールの 1 つです。プロンプトと呼ばれるキーワードを指定するだけで、クオリティの高い画像をすぐに生成できます。コミュニケーションアプリの「Discord」（ディスコード）を使ってサーバー上で画像を生成するため、ハイスペックなパソコンを必要とせず、一般的なノートパソコンでも利用できる手軽さが魅力となっています。

本書は、はじめて Midjourney を使う人でも迷わずひと通りの操作が行え、思い通りの画像を生成できるようになることをゴールとした書籍です。Midjourney の実行環境となる Discord のインストールのほか、プロンプトやパラメータの入力といった基本操作を解説する「基礎編」と、ビジネス資料や YouTube のサムネイル、Web サイトのバナーなど、具体的な利用シーン別に画像を生成・加工していく「実践編」の 2 編で構成しています。

■YouTube チャンネル登録者数 19 万人超の著者による、「使える」画像を生成するコツを収録

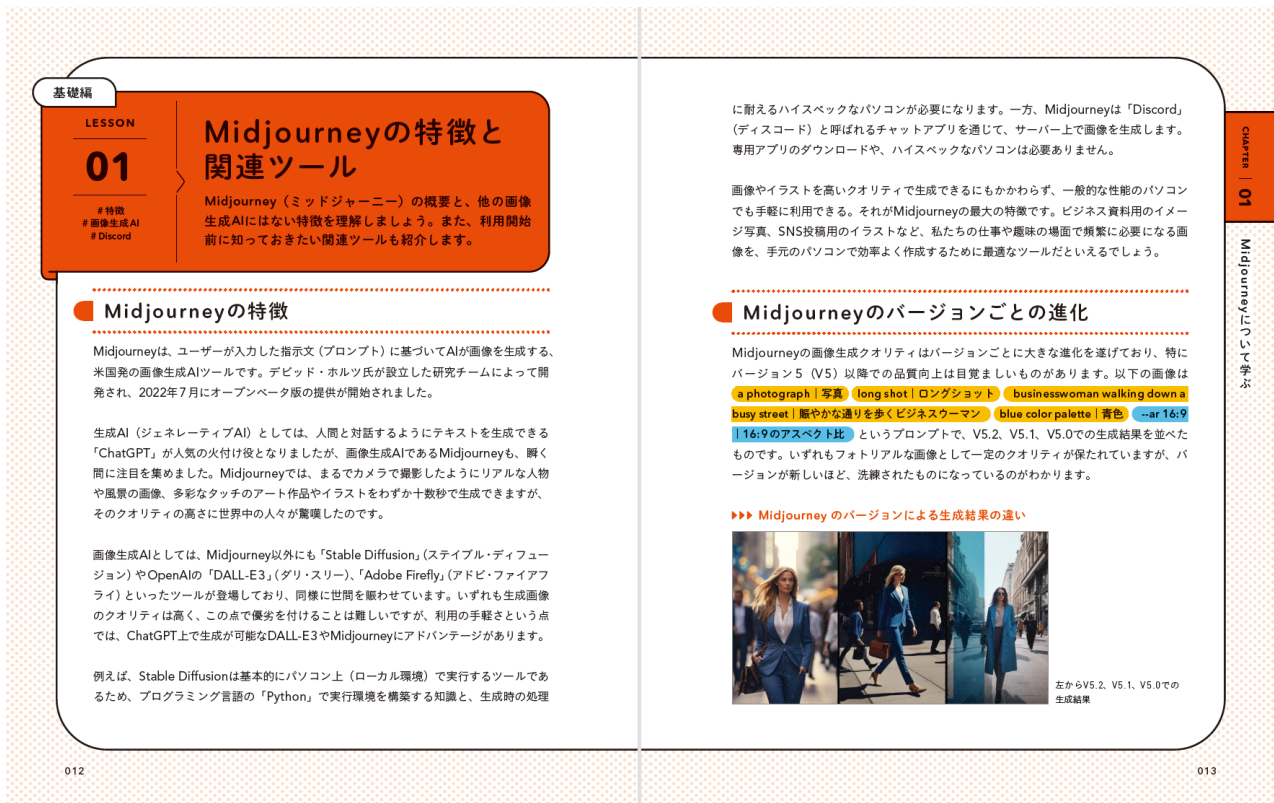
本書では、YouTube チャンネル「mikimiki web school」とオンラインスクール「Ririan School」を運営する傍ら、Web デザイナーとしても活動する扇田美紀氏を著者に迎え、デザインの現場で実際に役立つ画像生成のコツを解説しています。人物モデル、商品の利用イメージ、さまざまなアイコンや背景など、資料作りやWeb 制作において頻繁に必要な画像素材をMidjourney で生成することで、作業効率のアップとデザインのクオリティ向上を実現できるような内容となっています。

また、本書の読者特典として、使用頻度の高い定番プロンプトをまとめたPDF ファイルをダウンロード可能です。本書が手元になくても、いつでもプロンプトを確認してMidjourney での画像生成に役立てられます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 画像生成 AI をはじめて使う方
- ・ 企画書などのビジネス資料で使う人物や商品のイメージ画像を生成したい方
- ・ Web サイトで使うダミー画像や各種素材を生成したいデザイナーの方
- ・ チラシやプリントで使う挿絵を生成したい飲食店や町会・自治会の方

■紙面イメージ



Midjourney の特徴から解説しているので、画像生成 AI をはじめて使う人でも安心です。

プロンプトを工夫して異なる画像を生成する

希望通りの画像を生成するには、複数のプロンプトを組み合わせて描画内容を指示するなどの工夫が必要です。生成結果にどのような違いがあるかを見てみましょう。

前のLESSON 09では、Midjourneyにプロンプトを1語だけ送信して、最も基本的な画像生成を行いました。CHAPTER 05以降では、さまざまなシーンでの具体的な利用例にあわせたプロンプトを紹介しますが、このLESSONでは、入力するプロンプトの工夫によって生成される画像がどのように変化するかを、簡単な例で紹介していきます。

具体的な特徴を指示する

例えば、「カラフルな花」の画像を生成したいとします。単に「flower | 花」というプロンプトを入力するだけでも花の画像は生成できますが、それでは以下の左のように1本の花の画像が生成されやすく、カラフルな花の画像が生成される可能性は低いといえます。そこで、プロンプトを「colorful flowers | カラフルな花」に変更してみましょう。以下のように、より希望に近い画像が生成されやすくなります。

▶▶ 花の画像の生成結果の違い



左は「花」、右は「カラフルな花」での生成例

続いて、「色鉛筆で描いた明るいひまわり」の画像を生成する例で考えてみます。単に「sunflower | ひまわり」というプロンプトを入力するだけでは、以下の左のように写実的で、やや暗い雰囲気画像が生成される可能性が高いです。そこで、プロンプトを「bright sunflower drawn with colored pencils | 色鉛筆で描いた明るいひまわり」というふうな、具体的な特徴を加えた指示に変更すると、以下の右の画像のような生成結果となります。指定した通りの特徴を持つ画像になっていることがわかるでしょう。

このように、生成したい対象物の名称に加えて、特徴を表す言葉を加えていくのが、プロンプトを工夫する基本的なアプローチになります。

▶▶ ひまわりの画像の生成結果の違い



左は「ひまわり」、右は「色鉛筆で描いた明るいひまわり」での生成例

シチュエーションを指示する

特定のシチュエーションを描写した画像を生成したい場合は、生成する対象物に加えてシチュエーションを表す言葉をプロンプトに入力しましょう。

例えば「青い傘を持ったかわいい女の子」の画像を生成したい場合、「pretty girl | かわいい女の子」と「with a blue umbrella in her hand | 青い傘を持っている」を組み合わせて、「pretty girl with a blue umbrella in her hand」といったプロンプトを入力します。このようにすることで、次ページのような画像を生成することが可能です。

プロンプトを工夫し、思い通りの画像を生成するためのコツを多数紹介しています。

ライティングに関するプロンプト

カメラでの撮影時に起こる「逆光」や「レンズフレア」を意図的に発生させた画像を生成したい場合は、ライティングに関するプロンプトを利用します。

実際の写真と同様に、フォトライクな画像を生成するときには、光の当たり方（ライティング）によって印象が大きく変わります。Midjourneyでは通常は順光の写真のような画像が生成されますが、例えば窓際に座っている人物モデルを生成する場合、それが逆光となるのか、光の当たり方が強いのか弱いのかは、生成が完了するまでわかりません。このようなときに役立つのが、ライティングに関するプロンプトです。「逆光」や「柔らかな光」「レンズフレア」といったプロンプトをあらかじめ指定することで、生成される画像の雰囲気がある程度、絞られるようになります。

今回は、ベースとなる画像として「窓の前に座っている女性」を利用します。プロンプトは「woman sitting in front of a window | 窓の前に座っている女性」と指定しました。以下が生成された画像です。これをベースにさまざまなライティングに変えていきましょう。

▶▶ ベース画像：窓の前に座っている女性



この生成画像をベースに、ライティングに関するプロンプトを指定していく

逆光

逆光で撮影した写真は被写体をシルエットとして表現でき、ロマンチックな印象に仕上げられます。背景の光が強い場合には特に被写体が暗くなり、輪郭が強調されるので、コントラストを強調したいときやドラマチックな演出をしたいときにおすすめです。プロンプトは「backlight | 逆光」と指定します。

▶▶ 逆光の生成例



プロンプト
woman sitting in front of a window,
backlight

柔らかな光

光の強さを表すプロンプトとして、「柔らかな光」を表す「soft light | 柔らかな光」や「natural light | 自然光」と指定すると、直接的に差し込む光ではなく、拡散された光が当たっているような画像になります。被写体を優しく照らしているようなイメージに仕上げたいときに適しています。

▶▶ 柔らかな光の生成例



プロンプト
woman sitting in front of a window,
soft light

構図、ライティング、人物の表情など、画像をひと工夫するためのプロンプトも満載です。

■本書の構成

<基礎編>

- CHAPTER 01 Midjourney について学ぶ
- CHAPTER 02 Midjourney を導入する
- CHAPTER 03 Midjourney の基本を学ぶ
- CHAPTER 04 Midjourney の使いこなしを学ぶ

<実践編>

- CHAPTER 05 ビジネス資料用の画像を生成する
- CHAPTER 06 バナー用の画像を生成する
- CHAPTER 07 Web デザイン用の画像を生成する
- CHAPTER 08 サムネイル用の画像を生成する
- CHAPTER 09 メルマガ用の画像を生成する
- CHAPTER 10 生成した画像を加工する
- CHAPTER 11 基本のプロンプト集
- CHAPTER 12 プラグインを活用する
- CHAPTER 13 画像生成 AI と著作権

■書誌情報



書名：はじめてでも迷わない Midjourney のきほん デザインに差がつく画像生成 AI 活用術

著者：mikimiki web school・福岡真之介

発売日：2023年11月21日（火）

ページ数：256 ページ

サイズ：B5 変形判

定価：2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）

電子版価格：2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01792-9

◇Amazon の書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295017922/>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1123101062>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501792.jpg>

■著者プロフィール



mikimiki web school

扇田 美紀（おうぎだ みき）

株式会社 Ririan&Co. 代表

1985年福岡県生まれ。Web デザイン、SNS マーケティング、AI コンサルティングを行う株式会社 Ririan&Co. の代表を務める。AI やデザインなどの情報を発信する登録者 19 万人の YouTube チャンネル「mikimiki web school」や、オンラインスクール「Ririan School」などを運営。2021 年には、オンラインデザインツール「Canva」の日本初の Canva Expert（公式アンバサダー）に就任。ChatGPT や Midjourney、Canva をはじめとした講演や取材に多数出演している。著書に『新世代 Illustrator 超入門』（ソシム）。

◇Web サイト：<https://mikimiki1021.com/>

福岡 真之介（ふくおか しんのすけ）

西村あさひ法律事務所・外国法共同事業パートナー弁護士、および米ニューヨーク州弁護士。1996 年、東

京大学法学部卒業。1998年、司法修習修了。著書に『AIプロファイリングの法律問題』（商事法務）、『生成AIの法的リスクと対策』（日経BP）など。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watchシリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向けIT関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたはWebサイトからお問い合わせください。